

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和7年2月25日
タイトル	「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2024」入賞受賞者取材
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2024」で入賞の「MAEDAちきゅうとみらい賞」を受賞された学校法人三光学園千鶴幼稚園年中の近藤麗愛ちゃんを取材しました。

「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2024」には、全国から約3,000点の応募がありその中から入賞32作品、地域団体賞53作品、入選146作品が受賞となりました。

水土里ネット福山からは4校、139点が応募され、入賞1作品、入選8作品、地域団体賞1作品が受賞となり、佳作4作品も併せて東京都美術館に展示されました。

令和7年2月20日（木）千鶴幼稚園の教室でお母さんと麗愛ちゃんの担任の先生にも同席していただきお話を伺いました。



題名「カラフルな模様のカメ」



最初は緊張しているようでしたが、水土里ネット福山が贈ったメダルを手に笑顔がこぼれる麗愛ちゃん！メダルは取材の日に家に持って帰れると聞き、カレンダーに印をつけて指折り待っていてくれたそうです。春から年長になっても、自然や動植物に親しんで思いのままに絵を描いてもらいたいです。

お母さんにお聞きすると麗愛ちゃんは絵のタイトルにもあるように、いつも沢山の色を使ったカラフルな絵を描くこと好きだそうです。

受賞した絵はカメが生き生きと描かれており、先生にお聞きしたところ園庭でずっと飼育しているカメで普段から子ども達が餌をやり触れ合っているそうです。取材をした日は冬眠していましたが、大きいカメと小さいカメがいて、しっかり観察して描いていることがわかりました。

麗愛ちゃんの笑顔にふれて、これからも子ども絵画展に携わっていきたいと思いました。

水土里ネット福山は、引き続き21世紀土地改良区創造運動に取り組んでまいります。